

## 「運動会とラグビーワールドカップ」

学校長 金子 正人

雨で一日延期となってしまいましたが、10月20日に開催しました「MYキッズ・スポーツフェスティバル2019 運動会」には多くの保護者、地域、来賓の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。子どもたちが一生懸命に取り組んだ各学年の演技や競技はもちろん、開会式、閉会式で役割のあった子どもたち、応援団、リレーの選手、委員会や音楽クラブの子どもたちの活躍にも大きな声援をいただきありがとうございました。緊張する大きな舞台上で練習の成果を発揮でき、温かい拍手をいただけたことで、自信につながった子どもたちも多かったことと思います。運動会は学校をあげて取り組む大きな行事です。今年のスローガンは「全力で絆を深め、楽しもうMYスポ」でしたが、子どもも職員も運動会の成功に向けて全力で駆け抜け、そして大きく成長できた一か月間でした。育友会役員・サポーター、おやじ達の会、青少年指導員、スポーツ推進委員の皆様にはお力添えをいただきありがとうございました。

運動会当日の夜には、ラグビーワールドカップ準々決勝日本対南アフリカ戦が行われました。昼は運動会、夜はラグビーで盛り上がったご家庭も多かったのではないのでしょうか。ラグビー日本代表には日本人だけでなく、ニュージーランド、南アフリカ、韓国、サモアなど多くの外国人選手がおり、ともに日本の勝利のために「One Team＝ワンチーム」として戦いました。南アフリカ戦には惜しくも敗れてしまいましたが、史上初めてベスト8に勝ち進み歴史を変えた選手たちの戦いは多くの国民に感動を与えました。倒れても、倒れても前に進み、ボールをつなごうとする日本代表の闘志あふれる姿に励まされた方も多かったことでしょう。

南吉田小学校も、ラグビー日本代表と似ています。19もの国や地域につながる子どもたちが、ともに学び助け合って生活しています。国や文化、言葉の壁を超えて仲良くできる時もあれば、けんかをしたり、言葉の壁を感じたりすることもあるかもしれません。しかし、その都度お互いの気持ちを伝えあったり、言動を振り返ったりすることで折り合いをつけ、気持ちをコントロールすることを学んでいきます。

ラグビーでは試合が終わることを「No Side＝ノーサイド」と言い、戦いが終われば敵も味方もなくお互いのプレーを称賛し合い、リスペクトして別れるのだそうです。素晴らしいスポーツマンシップです。今年の運動会は僅差で白組が勝ちましたが、勝っても負けても「No Side」の精神で明日からの学校生活を送ってほしいと思います。

